

授業改善書

科目名	心理学概論I
担当者	鈴木一代

授業の概要

「心理学概論I」では、「こころ」を理解するために必要な基礎的な事柄を学ぶことにより、「心理学」という学問についての知見を深めることを目的とした。具体的には、「心理学の成立と発展」「感覚・知覚」「記憶」「学習」「欲求と行動」「パーソナリティ」を中心にとりあげ、講義した。

授業の問題点

②「授業についての評価」(「I. 授業内容」「II. 授業方法」「III. 授業全体」)全10項目は4.27から4.55の範囲なので特に問題はなく、③「学生による主な意見」(2件)も肯定的な内容だったが、①「学習態度」に関する4項目(1-4)のうち、項目2「授業外の予習復習」(3.32)と項目3「質問・発言」(2.75)が項目1(4.57)と項目4(4.62)に比較し平均得点が低かった。

授業改善の課題・方策

◆「授業外の予習・復習をしていない」について

毎回、授業の最後に、その日の授業内容に該当するテキストの箇所を確認すると同時に、次回の授業内容を予告をすることによって予習・復習を促している。しかし、今期は受講生数が全体で150人近くにいた上に、必修科目として積極的に受講している学生(認定心理士希望者等)だけではなく、そのほかの学生(一部、他学部・他学科学生を含む)が比較的多かったために、授業に対する姿勢や予習・復習の意欲に個人差があったことが平均値が低い理由のひとつとして考えられる。予習・復習を促す努力をさらに続けていきたい。また、毎回、授業の初めに、前回の授業のポイントを確認し、復習の重要性を学生に理解してもらうと同時に、全体的な復習の不十分さも補っているつもりだが、今後も継続していきたい。

◆「質問や発言が少ない」について

大教室を使用していることと、受講者数の多さが原因のひとつと考えられる。小テーマごとに、質問がないかどうかを尋ねたり、時々こちらから質問を投げかけることを継続していきたい。また、より質問や発言をしやすき雰囲気を作っていきたい。なお、授業終了後に質問にくる学生もいるが、今後も時間の許す限り丁寧に対応したいと考えている。

◆全体的に、さらに充実した授業になるように配慮していきたい。

その他